

高齢者福祉

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 兒崎 友美

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集
『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』中央法規出版 2021

◆参考テキスト

・福祉臨床シリーズ編集委員会編 「新・社会福祉士シリーズ 13 高齢者福祉」弘文堂
・大和三重他編著「新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック 10 高齢者福祉」ミネルヴァ書房

講義概要・一般目標

本科目を理解するには、次の4つの柱を体系的に理解することが必要である。一つは、高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解することである。

二つ目は、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解することである。

三つ目は、高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解することである。中心となるのは介護保険制度であるが、高齢者・高齢社会に関連する制度・政策を学び、環境となるこれらの諸制度が高齢者とその家族に与える影響とは何かを学ぶ。

四つ目は、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解することである。

到達目標

- 1) 学生は、高齢者の心身の特性と彼らを取り巻く社会的状況について理解し、説明することができる。(DP:①、④)
- 2) 学生は、高齢者に関する明治以降近代の法体系の発展と現行制度を理解し体系化することができる。(DP:①、④)
- 3) 学生は、高齢者に関する介護保険を含む連諸施策を理解し、サービスを利用しようとする人に説明することができる。(DP:①、④)
- 4) 高齢者を援助する社会福祉援助技術を習得し、実際に援助することができる。(DP:①、④)

実務経験のある教員による教育

科目担当(兒崎)は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士の実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、「高齢者福祉」にかかわる知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

第1章 高齢者と少子高齢社会

この章のポイント

高齢者とは、どのような存在で、どのような特性を持っているのかといったミクロレベルの視点から、高齢社会における社会の特性というマクロレベルの視点で高齢者に関する基本的な学習を進めていく。具体的には、高齢者をめぐる定義の変遷を追いながら時代や社会によってその捉え方を学ぶ。また、社会的、身体的、精神的な3つの側面から高齢者を総合的に理解する。

第2章 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境

この章のポイント

高齢者の生活実態について、最新かつ正確な知見を得られるよう高齢者の生活の諸側面や高齢者を取り巻く社会環境に関する知見を概観する。そして、高齢者の生活実態の多様性を学び、高齢者を含めた家族介護者支援の必要性とソーシャルワーカーの役割を理解する。

第3章 高齢者福祉の歴史と理念

この章のポイント

高齢者の人生や生活を支える社会の仕組みの起源を知り、それらの今日的意義や後世への影響を検証する。高齢者保健福祉の制度を時系列的に整理し、今後、さらに進展する少子高齢社会に求められる制度を考える際の手がかりとする。さらに、これらの学びからソーシャルワーカーにとって不可欠な高齢者とその家族を支援する際の礎となる理念を確認する。

第4章 介護保険制度

この章のポイント

本章では、介護保険制度の仕組み、要介護認定の手順を知り、実際の支援で要となる地域包括支援センターの業務を学ぶ。支援が必要な高齢者の状況によって、どのようなサービスを活用できるかを知るために介護保険サービスの体系を学ぶ。そして、制度を知り、活用することによって利用者の権利を擁護できるソーシャルワーカーを目指す。

第5章 高齢者に対する関連諸制度

この章のポイント

本章では、高齢者を支援する法体系を理解する。老人福祉法にはじまり、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法、高齢者住まい法など多くの法体系の存在を学ぶ。さらに、これらの目的と意義について理解し、総合的な高齢者支援の体系を理解することで、社会保険と福祉の差異について認識することを目指す。

第6章 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割

この章のポイント

本章では、国、都道府県、市町村(保険者)等の役割、介護保険制度における指定サービス事業者、地域包括支援センター、国民健康保険団体連合会等の役割、高齢者を支援する福祉・医療・保健専門職の役割を学び、家族やボランティアなど高齢者を支援する身近な人々の現状を理解する。

第7章 高齢者と家族等に対する支援の実際

この章のポイント

本章では、高齢者のアセスメントとコミュニケーションの要点を確認し、個人・家族・グループ・地域へのソーシャルワークの方法を学ぶ。そして、多職種・多機関連携とチームアプローチ、認知症ケア、終末期ケア、地域ケア会議と地域包括ケアシステムの構築において求められる留意点についても確認する。さらに、高齢者に関する事例を通して、高齢者と家族等に対する支援の実際を学ぶ。